資料　№7

消防統計

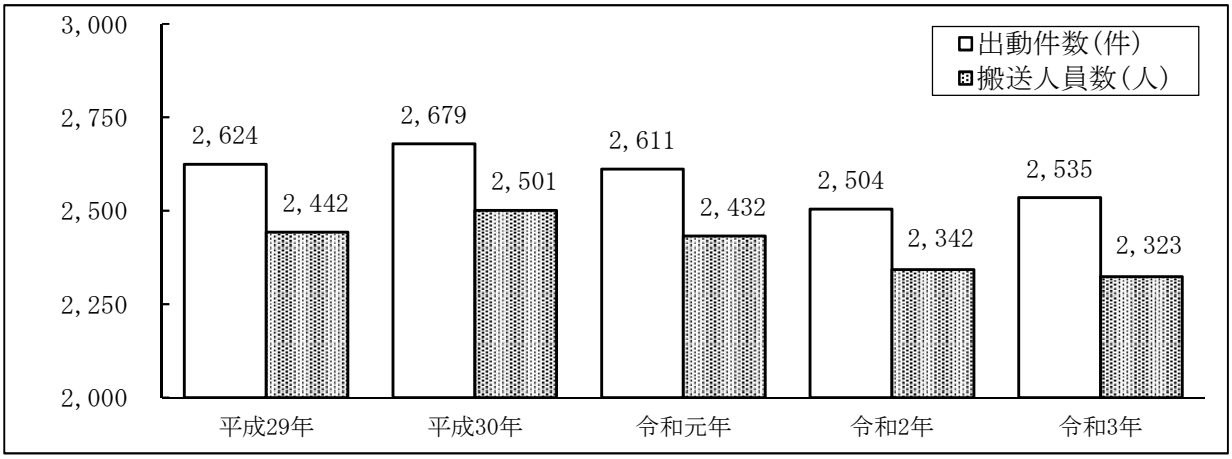
（光市の救急と火災）

令和４年１月１日～令和４年９月３０日

光地区消防組合消防本部

救急統計

図１　５年間の救急出動等の推移



○参考：人口１万人あたりの救急出動件数の比較（過去５年）

区分＼年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和２年	令和３年
光　市	**510.8**	**521.5**	**508.3**	**502.8**	**509.1**
山口県	482.5	493.8	490.6	468.9	490.2
全　国	499.3	520.0	522.7	470.5	491.0

※全国の数値は、「救急救助の現況（消防庁）」の数値を引用。（令和３年を除く。）その他の数値は、国勢調査の人口で算定。
※光市の人口１万人あたりの救急出動件数が全国を上回った年は、数値を太字で表示しています。

表１　事故種別出動件数及び搬送人員

事故種別＼期間		令和４年１月～9 月		令和３年１月～9 月		対前年比増減数	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
急　　病		1,288	1,155	1,133	1,006	155	149
交通事故		77	76	92	98	△15	△22
一般負傷		302	271	236	221	66	50
加　　害		6	4	7	6	△1	△2
自損行為		10	9	11	6	△1	3
労働災害		40	37	32	32	8	5
運動競技		20	20	19	19	1	1
火　　災		1		2	3	△1	△3
水　　難		1		1	1		△1
自然災害							
その他	転院搬送	295	294	291	290	4	4
	医師等搬送						
	資機材輸送						
	そ　の　他	6		11		△5	
合　　計		2,046	1,866	1,835	1,682	211	184

表２　年齢区分別搬送人員

期間／年齢区分	令和４年１月～９月		令和３年１月～９月		対前年比増減数
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	
新生児	19	1.0	8	0.5	11
乳幼児	53	2.8	34	2.0	19
少　年	48	2.6	57	3.4	△9
成　人	387	20.7	397	23.6	△10
高齢者	1,359	72.8	1,186	70.5	173
合　計	1,866	100	1,682	100	184

※年齢区分は右のとおり。
・新生児～生後 28 日未満
・乳幼児～生後 28 日以上満 7 歳未満
・少　年～満 7 歳以上満 18 歳未満
・成　人～満 18 歳以上満 65 歳未満
・高齢者～満 65 歳以上

表３　傷病程度別搬送人員数

年／傷病程度	令和４年１月～９月		令和３年１月～９月		対前年比増減数
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	
死　亡	26	1.4	24	1.4	2
重　症	74	4.0	61	3.6	13
中等症	842	45.1	705	41.9	137
軽　症	924	49.5	892	53.0	32
合　計	1,866	100	1,682	100	184

※傷病程度は右のとおり。
・死　亡～初診時において死亡が確認されたもの
・重　症～傷病の程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの
・中等症～傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
・軽　症～傷病の程度が入院を必要としないもの

表４　救急医療電話相談（＃７１１９）の利用状況　　単位：件

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
令和３年	21	22	8	11	5	6	13	6	7	7	16	11	133
うち救急要請件数	1		2	1			1	1		2	2	3	13
令和４年	11	15	15	16	13	17	11	10	21				129
うち救急要請件数	1	1	3	1	3	3	1						13

※令和元年７月から運用開始。

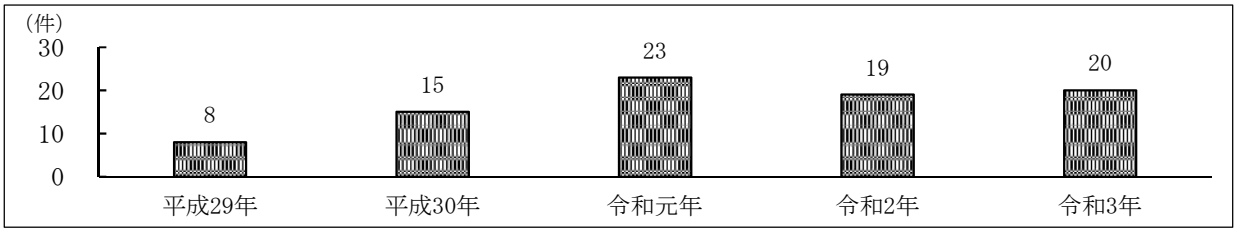
救急医療電話相談とは、急な病気やケガをした時に「救急車を呼んだほうがいいのか？」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか？」迷った際の電話相談窓口です。

＃7119 にダイヤルすると、看護師等が２４時間いつでも相談に応じます。

ご家族やお知り合いの方などへご利用をお勧めください。

火災統計

図２　５年間の出火件数の推移



○参考：出火率の比較（過去５年）　　単位：件

区分＼年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
光　市	1.56	2.92	**4.48**	**3.70**	**4.02**
山口県	3.51	3.71	3.71	3.74	3.53
全　国	3.08	2.97	2.96	2.72	2.77

※出火率とは、人口１万人当たりの出火件数。
※全国及び山口県の数値は、「火災の状況（消防庁）」の数値を引用。（令和３年は速報値）
※光市の各数値は、令和元年までは平成 27 年国勢調査の人口（51,369 人）、令和２年以降は令和２年国勢調査の人口（49,798 人）で算定。
※光市の出火率が全国を上回った年は、数値を太字で表示。

表５　出火件数　　単位：件

火災種別＼期間		令和４年１月～９月	令和３年１月～９月	対前年比増減数
出火件数	建物火災	7	9	△2
	林野火災	1	2	△1
	車両火災	1	1	
	船舶火災			
	航空機火災			
	その他の火災	7	2	5
	合計	16	14	2

※「その他の火災」とは、建物火災、林野火災、車両火災、船舶火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

表６　建物火災の焼損棟数等　　単位：棟、人

区分＼期間		令和４年１月～９月	令和３年１月～９月	対前年比増減数
焼損棟数	全焼	7	3	4
	半焼	1	1	
	部分焼	7	6	1
	ぼや	3	5	△2
	合計	18	15	3
死傷者	死者数	1		1
	負傷者数		3	△3
り災人員		24	16	8

※「全焼」　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
※「半焼」　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
※「部分焼」　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。
※「ぼや」　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が１平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が１平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

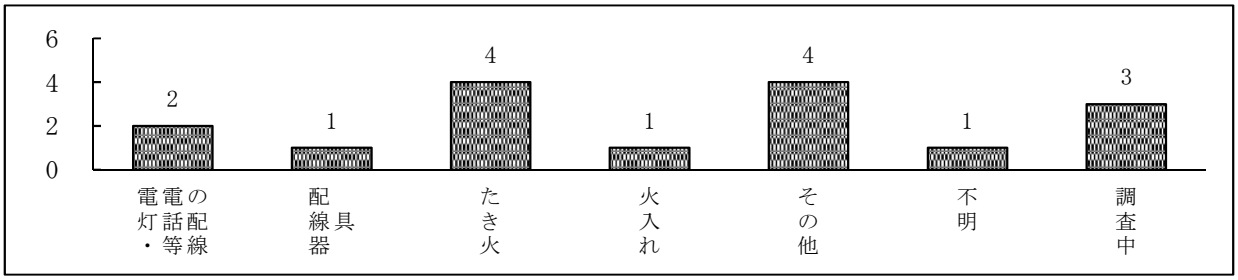



図３　出火原因（令和４年１月～９月）　　※速報のものを含む。